

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	横浜市中部地域療育センター 児童発達支援事業所フルール		
○保護者評価実施期間	令和7年11月4日	～	令和7年11月28日
○保護者評価有効回答数	(対象者数) 46	(回答者数)	42
○従業者評価実施期間	令和7年10月28日	～	令和7年11月21日
○従業者評価有効回答数	(対象者数) 6	(回答者数)	6
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年1月20日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	お子さんの特性やその時々の様子に合わせた支援の提供	<ul style="list-style-type: none"> 個々やクラスの状態に合わせて、活動を展開したり、保育室をはじめ事業所内の環境調整を行っている お子さんへの理解を深めるため、活動等における評価視点を職員間で共有している 観察、評価を基にスケジュールや手順書、グッズなど個々に合わせて使用している 	<ul style="list-style-type: none"> お子さんやクラスの状態に合わせて活動内容や関わり、視覚支援グッズ等、柔軟に対応していく 取り組みの振り返りを行い、評価視点をブラッシュアップしたり、活動のバリエーションを広げ、様々な経験の機会を提供していく
2	お子さんの特性理解や支援方法を深める保護者プログラムの開催	<ul style="list-style-type: none"> 月1～2回勉強会や個別報告、学期に1回面談や保育参観等、年間を通して保護者プログラムを設定している 勉強会は“お子さんとの関わり”や“就学”等、事業所職員以外にもソーシャルワーカー、作業療法士が行っている 職員からの情報提供だけでなく、保護者同士の情報共有、意見交換等の機会を設けている 	<ul style="list-style-type: none"> 保護者の方からの感想や意見を吸い上げ、勉強会の内容や構成を検討、話しやすい場、雰囲気作りを行う 面談や参観等、設定以外にも必要に応じて対応できることを周知していく
3	在籍園である幼稚園や保育所との連携	<ul style="list-style-type: none"> 巡回訪問を通し、在籍園での様子を把握、事業所内における支援の参考にしている。また園の先生や保護者と情報を共有している 在籍園の先生向けに事業所見学会(保育参観)を実施、お子さんや支援への理解を深める機会や事業所を知っていただく機会としている 	<ul style="list-style-type: none"> 保護者の方の了承の元、随時在籍園の先生方とやりとりを行い連携を図っていく 集団における評価の視点を整理し、職員間で共有していく

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	設備面や環境面について	<ul style="list-style-type: none"> 運動活動を行うスペースが狭い 個別対応を必要とするお子さんが複数いる場合、過ごすスペースが限られている 建物の構造上、外の光が入りにくく換気しにくい 	<ul style="list-style-type: none"> 活動内容や設定を検討していく 日常的な清掃に加え、定期的に業者への清掃業務を委託していく
2	保護者プログラムの運営について	<ul style="list-style-type: none"> 事業所職員が勉強会等を行う際に保育スタッフが不足することがある 就労されている保護者の方にとっては参加が負担となることある 	<ul style="list-style-type: none"> 限られた人員で無理なく行える活動を検討していく クラスの状態によってセンター他部門への応援を依頼していく 勉強会等の開催方法や欠席された方へのサポートを検討していく
3	保護者への伝達方法について	<ul style="list-style-type: none"> 児童発達支援ガイドライン等に基づく5領域について、アセスメントシートを作成し職員間で共有、個別支援計画書の作成を行っているが、保護者の方にわかりやすく伝えられているか不十分な部分がある ニーズの吸い上げが不十分であったり、情報が周知されていないことがある 	<ul style="list-style-type: none"> 5領域の説明や面談の進め方について職員間で確認を行う それぞれのご家族に合わせてお子さんご様子や伝えたり、聞き取りを行う等して共有していく 掲示や書面等、情報提供の方法を検討していく